

子どもたちの演奏でこいやす秋

第34回こども音楽祭

11月3日、田川文化センターで「第34回こども音楽祭」が催され、会場を訪れた約700人の観衆は、音楽を通して芸術の秋を満喫しました。

今回で34回目を迎えるこの音楽祭は、市民文化祭のメイン行事として昭和57年から始まりました。この日は、保育園児や小中学生、高校生など11団体約280人が、見事な合唱や器楽演奏、太鼓演奏をステージ上で披露すると、会場からは大きな拍手が送られていました。

鍵盤ハーモニカを演奏した西保育所の^{いましゅうかずき}今城和己くん(5歳)は「たくさんの方が見てくれたのでドキドキしたけど、みんなと一緒に楽しく演奏できました」とにっこり笑顔でした。



▲おそろいの衣装で、見事なハーモニーを披露する参加者



▲大きな声で火事を知らせるポーズをとる子どもたち

僕たち、私たちは守ります！火の用心！

田川地区消防本部主催で防火演奏会

11月9日、サンリブ田川店(川宮)で、秋季全国火災予防運動にあわせ、背中に「防火」と書かれた法被に身を包んだ徳成寺みのり保育園の子どもたち23人が、元気いっぱいの歌やダンスで買い物客などに火の用心を呼びかけました。

子どもたちは、火事を知らせるポーズや煙を吸わないよう口を押えるポーズなどを取り入れた防火体操などを上手に踊った後、「絶対に火遊びはしません」と約束しました。

福嶋恒瑛くん(6歳)は「うまく歌って踊れて楽しかった。火事は怖いので、絶対に火遊びはしません」と話しました。

また、市消防団や田川地区防災協会などの約30人がチラシを配り、住宅用火災警報器の設置などをアピールしました。

秋の夜長にランタンの明かりがともる

Sankt Martin(サンクト マーティン)

11月11日、後藤寺商店街サンシャイン通りで「Sankt Martin」が催され、後藤寺小学校5・6年生76人などが制作したランタン約80個の光が通りを包みました。

このイベントは、ドイツで親しまれている伝統行事を知ってもらおうと、本市国際交流員のリア・ベアクスさんが企画し、後藤寺商店街などの協力により行われたもの。会場では、ドイツ名物のひとつで果物やスパイスを入れた温かいワインであるグリューワインやドイツビールなどを販売。また、子ども向けには、缶落としゲームや数あてゲームなどドイツの子どもに大人気のゲーム大会も行われ、会場を訪れた人たちは、辺りに漂うドイツの雰囲気を楽しんでいました。



▲幻想的な灯火が道を照らし、訪れた人を楽しませました